

新健康協会では、新しい健康法を伝える「健康新聞」を毎月発行し、人間のもつ治癒力や適応力をお伝えしています。肉体的、精神的なコトでお悩みの方も是非一読されてみてください。

# 健康新聞

発行所 新健康協会  
発行人

〒813-0001  
福岡市東区唐原6-7-1  
TEL:092-661-1531  
https://shinkenko.jp



次の御論文は、明主様(当協会の教祖)が、昭和二十七年に発表されたものであります。世界平和と心身共に健全な人間作りを目指す活動に御理解を頂ければ幸甚です。

## 唯物主義が悪人を作る

この標題は少し厳しすぎるようだが、事実であるからやむを得ないのである。というのは、唯物主義即ち無神主義こそ我々からみれば最も危険な思想であるといっている。ぶちまけていえば、もしこの世の中に本当に神がないとしたら、私なども随分人に知れないように巧く誤魔化して金を儲け、したい放題の事をし費沢三昧に暮らすと共に、相当出世も出来たであろうが、何しろ神様の実在を知った以上、どうしてもそんな事は出来ない。出来るだけ真つすぐな道を歩いて、人の幸福を念願する人間にならなければならない。そうでないと幸福に決してならないから、生きがいある生涯を送る事

は出来ない。これは理屈でも何でも無い。昔から歴史をみても分かる通り、悪で一時はどんなに栄えても長くは続かないで、結局は滅びてしまう例はあまりにも多過ぎる。そこに気がつきそうなものだが、なかなか気がつかないとみえて、相変わらず社会は犯罪で埋まっている。強盗、詐欺、殺人などの凶悪犯罪をはじめ、地位ある人の汚職事件、市井の巷などでの人騒がせや、数知れない程の中小犯罪なども、そのことごとくは無神思想から生まれたものである。従って、この無神思想こそ犯罪を生む母体であるといってもよからう。従って世の中から犯罪を除くとしたら、何よりもこの無神思想を撲滅する以外に方法のない事は、あまりにも明らかである。ところが今日、識者も、当局も、教育家も、反対に有神思想を迷信とみている錯覚で、相変わらず法の取締りや、教育、お説教等に頼って効果をあげようとしているが、これでは何程熱心に努力しても、

効果のあがるはずがないのは当然である。何よりも日々の新聞の三面記事を見れば、よくそれを物語っている。

以上によってみても、社会を清浄にするには、有神思想を大いに鼓吹するよりほかに仕方がないが、情けないかな、現在の日本は知識階級ほど無神思想者が多い実情で、しかも無神思想がインテリやジャーナリストの資格とさえ思われ、無神論を大いに唱える人程進歩的とされているのである。という訳だから、これが一転して無神論者は古い人間にみられ、有神論者が時代の尖端を行く知識人とみえるようにならないくは、住みよい明朗な社会とはならないのである。

## 浄霊体験記

- 毒素が排せつされ 頭がスッキリに...
- 治らないと言われた首 わずか五分で快復...
- 私を救ってくれた 一枚の健康新聞...

浄霊によって真の健康体となり、運命が向上し、幸せになられた方々の体験でございます。

痔・湿疹

毒素が排せつされ 頭がスッキリに…

札幌支部 高橋 進 (69)



入った時はいつも頭からキーンという音が聴こえ、それと同時に沢山の星のようなものが見え、そのたびに立ちくらみがしていました。 大学生になった頃には、痔が悪くなったので治療していましたが、治療方法は塗り薬をつけるだけで、つけた時はちよつと良くなりますが、しばらく経つと元に戻り、またつける…、また戻る…ということを繰り返すだけで、ほとほと医学の治療には嫌気がさしていました。 そんな私の姿を見て、母から新健康協会に行ってみないか…と勧められました。もちろんその時は、浄霊で良く「浄霊が良い」ということを言っていたので、少しでも良くなれば…くらいの気持ちで支部へ行ってみました。

私は、子どもの頃から体が弱く、コップ半分の水を飲んだだけでお腹の調子が悪くなり、頻繁に正露丸を飲んでいました。また、生まれつき股関節の掛かりが浅く、医者から股関節亜脱臼との診断を受けていました。 中学生になり、バスケットクラブに入ってから段々と足や腰が痛くなったため病院に行ったところ、手術が必要だということになり、中学二年生と三年生で片足ずつ、大腿骨を切断して角度をつけて内側に入れるという手術を受けました。 高校生になった頃からは、毎朝、吐き気がして具合が悪く、夜、お風呂に

くほどに良くなりました。今思えば、時間に余裕のある学生の間にくさんの毒素を出し、就職に影響がないようになっていたのだと思い、明主様に感謝し上げました。

湿疹は、その後も何度か繰り返ししましたが、少しずつ軽くなっていき、今では側頭部に少し湿疹が出ている程度で済んでいます。学生の頃は、いつも頭がボーっとして、本を読んでもほとんど頭に入りませんでした。この湿疹で毒素が出た後からは頭がボーっとすることもなくなり、六十歳で定年退職した後も、六十八歳までの八年間、元気に働くことができました。

(北海道石狩市)

湿疹・下腹部の激痛

治らないと言われた首 わずか五分で快復…

熊本支部 瀧 国吉 (79)



私が新健康協会に入会したきっかけは妻と息子です。 昭和五十五年、当時八歳だった息子は幼い頃より体に湿疹が出ていま

た。季節の変わり目になると痒みで夜も眠れない日もありましたので、痒みが出る度にステロイド剤を塗ってあげていました。

そんな中、その年の夏、妻の勤め先の近くにプールがありましたので、息子はよくプールに遊びに行っていました。すると、そこに新健康協会の会員さんがおられ、息子の痒がる姿を見て、「痒みが楽になるよ…」と言って浄霊をしてくれたのです。すると一週間程で痒みが楽になり、湿疹も一部枯れていきました。

妻も、病院に行っても治らない湿疹の症状が浄霊で楽になっていく様子を見て感動し、近くの支部へ行くようになり、入会したら妻も浄霊が出来る…ということを知り、妻は昭和五十五年十二月二十一日に入会しました。

その後、一カ月程毎日浄霊をしていくと、浅黒かった息子の肌は白い肌に変わっていき、痒がることもありませんでした。本当に素晴らしい体験でした。

それから四年後の昭和五十九年始めの頃、私は寝違えてしまい、首がまわらなくなっていました。首が動かさず車の運転もままならなかったため、病院に行つたのですが、「これは治らない」と言われました。すると妻が「支部へ行こう」と言って、私を支部へ連れて行ってくれ、初めて浄霊を受けました。

すると、浄霊を受け五分もしないうちに、あんなにひどく痛かった首が、痛みも消え、自由に回るようになりました。本当に奇跡としか言いようのない状態でした。浄霊は素晴らしい…と心から思いました。また妻や息子の楽しそうに嬉しそう姿を見ていたら、「自分も入会したい」と思い、昭和五

十九年二月十八日に入会しました。 入会してからも普通では考えられない程、たくさんのおかけを頂きました。

私たち夫婦は、子供が独立したのをキツカケに都会を離れ、ゆつくり田舎暮らしをしたと思います、色々探しましたところ、熊本県の阿蘇、産山村という最高の場所がみつかり、そこへ移住し、現在は自然農法を実行しながら生かされています。日々感謝しながら過ごしています。入会してから、本当に良い方、良い方に進ませて頂き、本当に有難く、感謝で一杯です。

その中でも強く印象に残っている体験は、令和元年七月三十一日の体験です。その日の朝方四時半頃、右下腹部が痛み、目が覚めました。自分で浄霊をしていると痛みが和らぎましたので、起き上がり朝食を食べることが出来ました。

するとしばらく経って、下腹部から腎臓にかけて非常に強く痛みましたので、妻から浄霊を受けました。その後も激痛が続いていましたので、支部に出張浄霊をお願いしました。下痢、嘔吐がひどく、「七転八倒」という言葉がぴったりと当てはまるような状態でした。

その後、支部の方が来られ、浄霊を受けると、突然嘔吐があり、薬の匂いのする汚物がたくさん出ました。するとそのおかげで体は非常に楽になり、痛みもとれて、ゆつくり横になることが出来ました。

翌日には田んぼの水を見に行ける程に快復し、すっかり良くなりました。 本当に嬉しかったです。

今後ますます健康になって、生かされていることに感謝し、一日でも長く浄霊と自然農法を実行していきたいと思ひます。 (熊本県阿蘇郡)

喉の違和感・後頭部の痛み

私を救ってくれた一枚の健康新聞：

松山支部  
金森英明 (61)



私は昭和五十五年、松山の高校を卒業し福岡の大学に入学して間もない六月中旬頃、突然、喉が詰まるような締め付けられるような何とも表現のしようがない違和感を覚えました。食事をするにも唾液を飲み込むにもスムーズに嚥下(えんげ)することが出来なくなってきたのです。

そこで、耳鼻咽喉科医院で検査してもらったところ、特に異常は見られないとのことでした。それでも私が違和感や苦しさを訴えるので、念のためにということで九大病院を紹介してもらい検査をしました。

しかし器質的な異常は見つからず、原因不明だと言われました。そして、それはきつと精神的なものからきているのだろうとこのことで心療内科を紹介されました。診断も「親元を離れ、慣れない土地での学生生活で、ストレスや悩みからきているのでは」とのこと

ことで、「自律神経失調症」ということでした。

私自身は当時、自由を手に入れたかのごとくのびのびと学生生活をエンジョイしはじめたところで、何ひとつストレスも悩みなんてないのに…と思いましたが、とりあえずその薬を飲みながら様子を見ていました。

しかし二週間、三週間と時間が経過しても、逆に喉の違和感や嚥下の異常は増すばかりで、食事をするのもままならない状態となり、大学の夏休みに松山へ帰省しました。心配する両親の勧めもあって、地元の総合病院で再度検査してもらいましたが、結果は同じで、一向に症状は改善されず苦しさが募る毎日でした。

一枚の健康新聞に導かれて…

そんな折、実家のポストの中に一枚の健康新聞が入っていました。そこには浄霊によって医者に見放された病気や大病が良くなったという体験談が書かれており、少しでも楽になりたい、良くなりたいという気持ちから、すぐに松山支部へ電話をして、自分一人ですべて行きました。

松山支部の先生は私を優しく迎えて下さり、私に通っている大学のことをお話しすると、「総本部はあなたの通っている大学の近くにあるよ…ご縁だね」と言われ、身体の症状をお話しすると、親身になって聞いて下さいました。

その後、浄霊を受けたのですが、受けている最中に何とも言えない心地良さを感じました。その日の夜は、お小水に何度も行き、喉の違和感も少し和らぎました。

支部の先生から「夏休みの間、続けて支部に来てみなさい」と言われましたので、その日から支部に通うことになり、その間、先生からのお話や会員さんからの色々な体験談や温かい励ましの言葉の数々を頂き、優しさや温かさを感じました。

また、明主様の御論文を読むことも出来、以前の苦しくて暗澹(あんたん)たる気持ちから、前向きな気持ちに変わることが出来たのです。そして、夏休みが終る頃、支部の先生より「福岡に帰ったら、香椎支部で浄霊を続けると良い」と教えて下さったので、福岡に戻って、早速、香椎支部へ行きました。

香椎支部でも、先生ご自身の体験談や浄霊の奇跡の数々と素晴らしいお話し下さり、励まして下さいました。香椎支部は日々たくさんの方が来られていましたので色々な体験談を聞くことも出来ました。

皆さんが親身になって私に接して下さったので心身共に楽になったことを思い出し、感謝しています。そんな中、支部の先生から入会したら、良い方に変わらせて頂ける…とのお話を聞きまされたので、昭和五十五年の十二月、十九歳の時に入会しました。

再び浄霊で救われる

私は入会後も数々の御守護を頂きました。平成二十二年十月頃、前歯が欠けた

ことで歯の治療に行き、差し歯にしている間もなく、その歯の周辺や後頭部や延髄、耳下腺などが激しく痛みはじめ、それに伴って不眠、そして浄霊を受けるときつかけとなりました喉の詰まりや締め付けによる違和感から食事の

嚥下困難が始まり、一気に体重が十キロ以上減り、体力と気力がなくなりました。そのため仕事が続けられなくなり、退職せざる得なくなりました。

その当時、私は五十歳を過ぎており、また仕事が出来たのだろうか…と将来の不安を抱えながら、日々の支部や家庭で浄霊を重ねました。その後二年程で楽になり、再び仕事を…と思い、最初は無理をしないでアルバイトを始め、身体に自信がついたときには五十三歳を過ぎていました。

その後、正社員の仕事を探そうと年齢的なことや過去に何度も退職していたことなどから、書類選考で落とされること続き、面接にまでたどり着くことが出来ませんでした。

再就職でも奇跡の連続

そんな折、健康新聞に「健康新聞配布や支部での御用をさせて頂くことによつて、その年齢では考えられないような好条件で再就職をさせて頂くことが出来た」という体験談を読みました。

私も仕事が見つからない…と嘆くのではなく、より一層、健康新聞配布や御用をさせて頂きました。

すると、その後ハローワークから紹介された会社に応募したところ、締め切り直前だったのですが、折角応募して下さったから…と、面接に応じて下さいました。

面接を終えて、私自身、その業界や業種のスキルも全く持ち合わせていなかったものだから、多分無理だろうと思ひ、諦めていたのですが、何と「採用」の連絡を頂き、また、条件面でも思っていた以上に考慮して頂いて

職に就くことが出来ました。おかげ様で、それから無理なく仕事を続けることが出来た上、一昨年の十月で定年退職になったのですが、勤務条件、待遇面も変わらず再雇用をして頂き、明主様に深く感謝申し上げます。(愛媛県松山市)

浄化作用

人間には体内の毒素(=汚物)を排除して健康を促進しようとする働きがあります。これを称して自然良能力と言います。

例えばカゼの場合、体内にあってはならない毒素を溶かすために熱が出ます。溶けた毒素が汗やタンとなって排せつされるので体の中が掃除され、清浄化されます。

その毒素排除の過程を「浄化作用」と言います。ですから浄化作用は、熱や痛みを伴うので苦しみがありませんが、体を健康にする大切な清掃作用でもあるのです。

# 自然農法

明主様の御教え

## 無肥料栽培

私は今無肥料栽培に就き解説するにあたって先づ根本理論から説いてみるが、抑々土とは何ぞやといふ事である。言ふ迄もなく人間生命を保持すべき最重要なる五穀野菜を生育すべく、造物主が造られたものに違いない。従つて土そのものの本質は神秘幽玄なるものであつて、現在までの唯物科学によるも到底窺知し得ない事は論をまたない感である。然るに今日迄の農業は不知不識邪道に陥ちいりたる結果土の力を蔑視し、一切の作物をより良く生育するには糞尿又は化学肥料等の人為的肥料に依らねばならぬと思ひ、今日に到つたのである。

然るに以上の如き結果は、土壌の本質は漸次退化変質し、土壌本来の生育力は衰耗するに拘わらず、それに気が付かない為、農作不良の原因は肥料不足に因ると錯覚し益々肥料を施すから土壌の力は愈々鈍化しそれを補わんとして肥料をより施す結果、今日の如く日本の國土は瘦地化し、農耕者の口を揃えて嘆ずる処である。

自然農法とは自然を尊び、愛情をかけて育てること、自然力を生かす農法です。

## 自然農法体験談



香椎支部  
おおよま  
大山ヒロ子 (72)

私が支部に浄霊へ行っている時、会員さんが「一緒に畑作業をしてみませんか」と誘われたことをきっかけに自然農法を知りました。畑作業は楽しい上に、自然農法で育つた野菜をいただく、とてもおいしく、私は自然農法の魅力にはまりました。

しかし数十年前会員さんと一緒に作業してきた畑も地主さんに返さないといけないことになり、私は残念な思いになりました。「一品でもいいから自然農法で野菜を育てたい！」そう思った私は自分で新たに土地を借りて自然農法を始めることにしました。最初は草取りや土を返したりと大変な作業が続きました。また、どの場所にも野菜を植えようかと試行錯誤しましたが、年々野菜も増えていき、今では二十種類ほどになります。

野菜を育てていく上で心掛けていることは、野菜それぞれが大地にしっかりと根を張るように、そして夏の暑さに負けず、たわわな実りをいただけますようにと念願し、どうすれば野菜たちが喜ぶかを考え、日々作業をしております。

おかげ様でジャガイモやインゲン等、どの野菜も甘くて柔らかく、それぞれの野菜の風味がおいしいと言われます。また、子どもや孫たちも喜んで野菜を食べてくれますので、本当にうれしいです。畑で作業をする前、今日は体がつらいな...と思うときでも、畑の土素（大地のエネルギー）をいただくからか、いつの間にかリフレッシュして、帰るときには元気になります。

自然農法で野菜を作る楽しみ、食べる喜びがありますので、一日でも長く自然農法を実践していきたいと思っております。  
(福岡県福岡市)

## 美の世界

美によって人間の情操を高め、生活を豊かにし、人生を楽しく意義あるものにすることができます。

### 歌川広重作

### 『名所江戸百景』之内

### 『霞かせぎ』

高くなるほど青濃くなるグラデーシヨンの空に次々上がる風。最も高くなる中央の風には「魚」の文字が見えます。大名屋敷の間を抜ける通りの先には築地方面の街、さらには先には帆船の浮かぶ江戸湾まで望むことができ、晴々とした眺めの光景です。これは歌川広重『名所江戸百景』『霞かせぎ』の図、つまり中央の通りが霞が関と呼ばれた坂で、江戸城西側に位置するこの坂の上から街を見下ろす景色を描いたものです。

現在各中央省庁が置かれ、日本の国家の中枢機能を担う霞が関は、江戸時代には有力大名などの武家屋敷が立ち並ぶエリアで、この図で言えば、右側が福岡藩黒田家の上屋敷、左側が広島藩浅野家の上屋敷。いずれも広大な敷地を持つ大藩です。今も地名として残る霞が関の名は、日本武尊が蝦夷の襲撃に備えて武蔵国に置いた関所の名に由来しているといえます。ここがその関所があったところではないようですが、中には歌枕としてたくさんの和歌に詠みこまれ、時代を経て伝えられていくうちに、雲霞を隔てた遠方を望むことができた関所の名を、いつしか人々がこの地の眺望と重ね合わせていったのかもしれません。

黒田家前には大きな門松が飾られているのもちらりと覗きます。往來には曲芸をみせる太神樂の団、それを見ているような三河万歳の太夫

と才蔵という、正月の門付芸を代表するような人物たちが行き交い、さらに左には小鯨の鮭売らしき男性。彼らが「こはだのすし」と呼び歩く光景もまた、江戸の正月ならではの光景だったようです。正月遊びの凧揚げが空高く上がる中、通りをゆく人々の姿自体も季節感を伝えているのです。

何気ない日常や節目に行う慣習といったものは、受け継がれてそのまま残るものも、形を変えて残るものも、残念ながら今はもうなくなつてしまったものもあります。比較的長く残る地名や地形と生活習慣の組み合わせが時代をつくつていくのだといえますが、それを確認できるのも「今」を記録するような絵や文章があるからで、それを大事に味わうことによつて次の時代へも繋いでいけるのだと思います。

解説 松田愛子



## 晴明会館

「伝承の趣」後期展  
期間…1月7日(土)～5月13日(土)

※晴明会館お問い合わせ ☎092(661)1535

健康新聞についてのお問い合わせは  
(092)661-1531まで